

学校に関する基本情報、重視している取組や課題等について

問 1 下の様式のそれぞれの事項についてお答えください。

設置者名	回答を入力してください。
学校名	回答を入力してください。
独立・併置別 (右記のいずれかに チェックをしてくだ さい)	<input type="checkbox"/> 1. 独立 <input type="checkbox"/> 2. 全日制と併置 <input type="checkbox"/> 3. 定時制と併置 <input type="checkbox"/> 4. 全日制及び定時制と併置
学則に定める通信制 課程の収容定員	人
在籍生徒数(平成 29 年 5 月 1 日現在)	人

問 2. 貴校の通信制課程について、平成 29 年 3 月 31 日現在に在籍していた生徒数と、これらの生徒のうち平成 28 年度中に一科目も履修登録をしていない生徒数をお答えください。

- ・在籍生徒数 () 人 (平成 29 年 3 月 31 日現在)
- ・そのうち、平成 28 年度に一科目も履修登録をしていない生徒数 () 人

問 3. 平成 28 年度間(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)に貴校の通信制課程を卒業した生徒数を、当該課程に在籍した期間別にお答えください。

a 0 年以上 1 年未満	() 人
b 1 年以上 3 年未満	() 人
c 3 年間在籍	() 人
d 3 年より長く 4 年以下在籍	() 人
e 4 年より長く 6 年未満在籍	() 人
f 6 年以上在籍	() 人

問 4 平成 28 年度間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日まで)に貴校の通信制課程に入学した生徒数、及び新入学者と転編入学・転籍者(※)の内訳をお答えください。

※ 中学校卒業後、直ちに入学した者のほか、中学校卒業後から期間を置いて入学した者や年度途中に入学した者も、転編入学・転籍手続きにより入学した者でなければ新入学者に該当します。なお、転籍者とは、自校の他の課程からの転籍した者をいいます。

- ・平成 28 年度入学者数 [回答を入力してください。]人
 - うち新入学者 [回答を入力してください。]人
 - うち編入学・転籍者 [回答を入力してください。]人

問5 貴校の通信制課程を卒業した生徒の高等学校在籍期間（※）について、a～eのうち、もっとも当てはまると考えられるものを選択してください。

※ 貴校における一般的な傾向に最も近いと考えられるものを選択してください（特定年度の実績値に基づく必要はありません）。高等学校在籍期間とは、貴校における在籍期間のみならず、転入生の前籍校を含め、生徒が卒業するまでに我が国の高等学校に在籍した期間を言います。

- a 高等学校在籍期間が3年間である生徒が最も多い
- b 高等学校在籍期間が3年より長く4年未満である生徒が最も多い
- c 高等学校在籍期間が4年間以上である生徒が最も多い
- d aとbが同程度で最も多い
- e bとcが同程度で最も多い

問6 貴校の通信制課程において、特に重視して取り組んでいる事項（※）について、以下の選択肢の中から8つ選択してください。

※ 必ずしも学校の教職員による取組に限定せず、連携施設（協力校、技能教育施設、サポート施設等）との連携を通じて進めている取組も含めて、特に重視しているものを選択してください。

- a 添削指導の充実（添削課題の作成、生徒の回答内容を踏まえた添削コメントの充実等）
- b 少人数指導や個別指導
- c 習熟度別指導
- d 履修・学習状況のきめ細かな把握・管理
- e 義務教育段階における学習内容、基礎的な知識・技能の定着のための指導・支援
- f 大学入試対策のための指導・支援
- g 就職のための指導、支援
- h 職業教育（実践的な技術習得のための指導等）
- i 進路指導、キャリア教育
- j 思考力、判断力、表現力の育成等のための指導、支援
- k 特別活動等による集団生活や人間関係づくり、コミュニケーション力等の育成
- l 学習規律の維持等のための生徒指導
- m 生徒の非行や犯罪行為の防止に関する指導や対応
- n スクールカウンセラー等による教育相談
- o 経済的困難、生活困窮世帯の生徒に対する支援（スクールソーシャルワーカーの配置等を含む）
- p 発達障害を有するなど特別な支援を要する生徒に対する支援、専門的な対応
- q 日本語を母国語としない生徒への指導、支援
- r 学習意欲等に課題がある生徒に対する日常的な働きかけや支援
- s 生徒への指導、支援におけるICTの活用
- t 部活動の充実
- u 施設設備の充実（実験・実習のための施設設備、運動場等）
- v 教員配置の充実
- w 学校経営の安定化
- x 法令順守の徹底（学習指導要領、特区法等）
- y 連携施設（技能教育施設、サポート施設等）との適切な連携・協力関係の確保

問7 貴校の通信制課程における課題として、特に重要であると捉えている事項(※)について、以下の選択肢の中から8つ選択してください。

※ 問6と同じ選択肢を選択してもかまいません(例えば、現在、当該事項について特に重視して取り組んでいるが、今後、その取組を更に充実させることが課題であると捉えている場合など)

- a 添削指導の充実(添削課題の作成、生徒の回答内容を踏まえた添削コメントの充実等)
- b 少人数指導や個別指導
- c 習熟度別指導
- d 履修・学習状況のきめ細かな把握・管理
- e 義務教育段階における学習内容、基礎的な知識・技能の定着のための指導・支援
- f 大学入試対策のための指導・支援
- g 就職のための指導、支援
- h 職業教育(実践的な技術習得のための指導等)
- i 進路指導、キャリア教育
- j 思考力、判断力、表現力の育成等のための指導、支援
- k 特別活動等による集団生活や人間関係づくり、コミュニケーション等の育成
- l 学習規律の維持等のための生徒指導
- m 生徒の非行や犯罪行為の防止に関する指導や対応
- n スクールカウンセラー等による教育相談
- o 経済的困難、生活困窮世帯の生徒に対する支援(スクールソーシャルワーカーの配置等を含む)
- p 発達障害を有するなど特別な支援を要する生徒に対する支援、専門的な対応
- q 日本語を母国語としない生徒への指導、支援
- r 学習意欲等に課題がある生徒に対する日常的な働きかけや支援
- s 生徒への指導、支援におけるICTの活用
- t 部活動の充実
- u 施設設備の充実(実験・実習のための施設設備、運動場等)
- v 教員配置の充実
- w 学校経営の安定化
- x 法令順守の徹底(学習指導要領、特区法等)
- y 連携施設(技能教育施設、サポート施設等)との適切な連携・協力関係の確保

面接指導の単位時間数の減免の取扱いについて

貴校における、多様なメディアを利用した学習による面接指導時間数の減免（以下「減免」という）についてお答えください。

問 8 貴校における減免の取扱いについて、次のいずれかを選択してください。

- 減免を行っている → 問 9～12 にご回答ください
 減免を行っていない → 問 9～問 12 の回答は必要ありません

問 9 貴校における減免の取扱いについて、最も合致するものを選択してください。

- 減免を行わない生徒の比率が最も高い
 10 分の 6 までの減免を行う生徒の比率が最も高い
 10 分の 6 を超えた減免を行う生徒の比率が最も高い

※ 「生徒の比率」とは、履修登録を行っている生徒の中での比率のことであり、いわゆる非活動生（1 科目も履修登録をしていない者）は含めません。教科・科目によって減免の割合が異なる場合、より多くの教科・科目について合致するものを選択してください。

問 10 貴校では、減免の対象となる生徒について、何らかの参照すべき基準や指針、内規等を策定していますか。

- 策定していない
 基準や指針、内規等を策定している
 → 策定している場合、内容が分かる資料をご提供ください。

問 11 貴校における減免の取扱いについて、それぞれ合致するものを選択してください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらともいえない	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
a 全生徒について、10 分の 6 を超えた減免を原則としている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b 集中スクリングを受講する生徒について、10 分の 6 を超えた減免を原則としている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 特定のコースを選択する生徒について、10 分の 6 を超えた減免を原則としている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 有職生徒について、勤務実態等を踏まえて、個別に 10 分の 6 を超えた減免を認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e 疾病による療養又は障害、集団行動や対面でのコミュニケーションが困難であるなど、個々の生徒の状態を考慮して、個別に 10 分の 6 を超えた減免を認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f 海外で学ぶ生徒について、10 分の 6 を超えた減免を認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

g スポーツや文化活動等に特に力をいれている生徒について、10分の6を超えた減免を認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
h d～gには該当しないが、欠席等により面接指導の時間数が足りない生徒への個別対応として、10分の6を超えた減免を認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i 自校で作成・配信等を行う教材・コンテンツ等を用いて学ぶ生徒について、その学習効果に鑑みて、10分の6を超えた減免を認めている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
j 原則として、10分の6以内としている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
k 原則として、減免は行わないこととしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 12 利用しているメディアの種類について該当するものを全て選択してください。

- a 高校講座（テレビ・ラジオ）
- b 高校講座（ウェブサイト）
- c 高校講座以外のテレビ・ラジオ番組
- d DVD・ビデオ・インターネットによる授業映像等の配信（一方向、市販）
- e DVD・ビデオ・インターネットによる授業映像等の配信（一方向、自校作成）
- f インターネット等を利用した指導（双方向、実施校の教員による指導）
- g インターネット等を利用した指導（双方向、実施校の教員以外の者による指導）
- h その他 [回答を入力してください。]

通学コースの運営状況等について

通信制高等学校の生徒が利用する「通学コース」についてお答えください。「通学コース」とは、通信制高校の生徒が、定期的に、週1日以上通学して学習するコース(※)のことを言います。

※ 高等学校学習指導要領に規定する面接指導に該当するか、面接指導には当たらない教育課程外の補習指導等であるかは問いません。また、集団的な指導であるか、個別指導であるかは問いません。

本調査では、「通学コース」を以下の2つの分類に分けています。

- ・「**自校通学コース**」…通学コースのうち、主として高等学校の校舎又は設置者が設置する施設において、高等学校の教職員が中心に指導に当たるもの
- ・「**提携通学コース**」…提携する教育施設(※)が運営する通学コースであって、当該高等学校の生徒が利用することを前提に教育内容等が定められ、当該高等学校のホームページやパンフレット等において生徒が利用可能な通学コースとして紹介され、当該高等学校を通じた申し込みが可能であるなど、当該高等学校との連携の下で提供されるもの

※ 教育施設は、協力校、技能教育施設、民間のサポート施設等の設置形態は問いません。

《自校通学コースについて》

問 13 貴校では、自校通学コースを設けていますか。

- 設けている → 問 14、問 15 にご回答ください
- 設けていない → 問 14、問 15 の回答は必要ありません(問 16 以降にご回答ください)

問 14 自校通学コースの通学日数及び生徒数についてお答えください。合わせて、自校通学コースの通学日数として当てはまるものを全て選択したうえで、生徒数の内訳を記載してください。

① 自校通学コースを利用している生徒数 () 人

② 自校通学コースの通学日数及び生徒数の内訳

週1日のコース 生徒数 () 人

週2日～4日のコース 生徒数 () 人

週5日のコース 生徒数 () 人

※ 生徒数は平成 29 年 5 月 1 日現在とし、概算値でもかまいません。学校として把握していない場合は、空欄としてください。

※ 各教科・科目ごとに生徒が選択するような仕組みとなっている場合には、一つの教科・科目でも自校通学コースを選択している生徒数について記載してください。この場合、②は延べ数の記載となるため、合計値と①が異なることになってもかまいません。

問 15 自校通学コースの生徒の進路希望、特徴、カリキュラムの特徴等に関する①～⑤の設問についてご回答ください。

※ ①及び②は、生徒の概ねの割合についての質問となりますが、回答は、正確な数値に基づくものである必要はありません。学校の実態に照らして、最も合致する欄にチェックを入れてください。また、②は、例えば、1 年次生の進路希望は現時点で把握していないといった場合は、進路希望を把握している範囲内の割合を選択してください。

① 自校通学コースを利用する生徒の特徴について、それぞれ合致するものを選択してください。

	大多数(概ね 9割以上)	半分以上(概ね 5~8割程度)	半分以下(概ね 4~1割程度)	少ない(概ね 1割以下)
a 不登校・中退経験等があり、学校生活への適応に困難を抱える生徒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b 発達障害を有するなど特別な支援を要する生徒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 有職生徒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 大学入試対策に重点を置いた指導を希望する生徒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e 各種の職業教育プログラムを希望する生徒	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f その他(自由記述)	回答を入力してください。			

② 自校通学コースを利用する生徒の進路希望について、それぞれ合致するものを選択してください。

	大多数(概ね 9割以上)	半分以上(概ね 5~8割程度)	半分以下(概ね 4~1割程度)	少ない(概ね 1割以下)
a 選抜性の高い大学への進学希望者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b a以外の大学・短大等への進学希望者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 専修学校への進学希望者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 就職希望者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e その他(自由記述)	回答を入力してください。			

③ 自校通学コースのカリキュラムの特徴について、それぞれ合致するものを選択してください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらともいえない	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
a 習熟度別指導を積極的に取り入れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b 義務教育段階の学び直しに力を入れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 大学入試対策に重点化している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 職業教育に力を入れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e 横断的・総合的な学習や探究的な学習の機会を積極的に設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f 集団活動や人間関係づくり、コミュニケーション力育成等の機会を積極的に設けている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
g 生徒指導や教育相談に力を入れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
h 進路指導、キャリア教育に力を入れている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i その他(自由記述)	回答を入力してください。				

④ 自校通学コースを設ける目的・意義について、それぞれ合致するものを選択してください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらともいえない	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
a 自律的、計画的に学習を進めることに課題がある生徒に対して、日常的な学習支援の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b 学び直し等により基礎的な知識・技能の定着を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 大学入試対策の指導により進路実現を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 職業教育の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e 集団活動や人間関係づくり、コミュニケーション育成等の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f 生徒指導や教育相談等の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
g 進路指導、キャリア教育の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
h 様々な体験活動の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i その他（自由記述）	回答を入力してください。				

⑤ 自校通学コースの始業時間、終業時間として最も一般的な時間を記載してください。

※ 複数のコース間で異なったり、生徒によって異なったりする場合は、最も多くの生徒に当てはまる時間を記載してください。

始業時間 [] 終業時間 []

《提携通学コースについて》

問 16 貴校では、提携通学コースを設けていますか。

- 設けている → 問 17～問 19 にご回答ください
- 設けていない → 問 17～問 19 の回答は必要ありません
調査は以上です

問 17 提携通学コースの通学日数、利用する生徒数を把握している場合は（概算値でも可）、①～③にお答えください。

※ 生徒数は平成 29 年 5 月 1 日現在とし、概算値でもかまいません。また、③の生徒数の内訳は、概ねの割合でもかまいません。いずれの項目についても、学校として把握していない場合は、空欄としてください。

- ① 提携通学コースを利用している生徒数（ ）人
- ② 提携通学コースの数（ ）
- ③ 提携通学コースの通学日数及び生徒数の内訳
- 週 1 日のコース 生徒数（ ）人 又は（ ）割程度
- 週 2 日～4 日のコース 生徒数（ ）人 又は（ ）割程度
- 週 5 日のコース 生徒数（ ）人 又は（ ）割程度

問 18 提携通学コースを設ける目的・意義について、それぞれ合致するものを選択してください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらともいえない	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
a 自律的、計画的に学習を進めることに課題がある生徒に対して、日常的な学習支援の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b 学び直し等により基礎的な知識・技能の定着を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 大学入試対策の指導により進路実現を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 職業教育の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e 集団活動や人間関係づくり、コミュニケーション育成等の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
f 生徒指導や教育相談等の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
g 進路指導、キャリア教育の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
h 様々な体験活動の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
i 技能連携制度を活用して技能教育の充実を図る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
j その他（自由記述）	回答を入力してください。				

問 19 提携通学コースの運営者との連携状況等について、それぞれ合致するものを選択してください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらともいえない	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
a 各提携通学コースの加わり方内容について十分に把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b 加わり方内容について意見交換、調整を行うなど、学校として提携通学コースの企画・運営に関わっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c 個々の生徒の学習状況等について日常的に情報共有等を図り、添削指導や面接指導等に生かしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d 個々の生徒の生活状況等について日常的に情報共有等を図り、生徒指導や教育相談等に生かしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
e その他（自由記述）	回答を入力してください。				

面接指導の単位時間数の減免の取扱いについての追加質問

問8で「減免を行っている」と回答した場合は、以下の追加質問1及び追加質問2にご回答ください。「減免を行っていない」と回答した場合は、回答の必要はありません。

追加質問1 多様なメディアを利用した学習による面接指導の単位時間数の減免について、生徒がメディア視聴を行った時間と同程度の時間分を、面接指導の単位時間数から減免するという運用（以下、「実時間減免」という）（※）を行っていますか。

- 行っている / 行っている場合がある → 追加質問2にご回答ください
- 行っていない → 追加質問2への回答は必要ありません

※ 例えば、国語総合（4単位）の場合、高等学校学習指導要領の規定により、面接指導の単位時間数は4単位時間となりますが、「実時間減免」とは、生徒が2単位時間分程度（又はそれ以下）のメディア視聴を行い、報告課題の作成等により成果が満足できると認められれば、面接指導の単位時間を4単位時間から2単位時間に減免するような運用のことをいいます。

追加質問2 貴校における「実時間減免」の運用について、以下の選択肢のうち、より当てはまるものを1つ選択してください。

- 減免を行う場合、実時間減免とすることが一般的である（減免を行う生徒のうち、実時間減免の生徒が最も多い）
- 減免を行う場合、実時間減免とすることは一般的ではない（一部の生徒に対して限定的に実時間減免を運用している）（※）

※ 例えば、面接指導について、何らか事情により既定の単位時間数分の受講ができなかった生徒に対する配慮として、実時間減免を行う場合などをいいます。